



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

October 2003 No.4
 Chartered July 20, 1982

標語 YS SLOGANS (2003~2004)

クラブ会長 : 『個性を認めて共に前進』
 国際会長 : "Be Agents of Change" 『変革の担い手となろう』
 アジア会長 : "New thinking, New Action"
 『新たな思考で、新たな行動を!』
 西日本区理事 : 『未来に架ける橋』
 中西部長 : 『分ち合い 共に歩むワイズ』

クラブ役員 Officers

会長 : 谷川 俊一
 副会長 : 松浦 孝次
 // : 石津 雅人
 書記 : 山田 孝彦 (主)
 // : 栗山 佳三
 会計 : 三浦 直之 (主)
 // : 鎌田 史朗
 ネット会長 : 松浦 和子
 Y連絡職員 : 浜野 昌保

月間強調テーマ : 『 B F 』

㊦㊦㊦ 10月の聖句 ㊦㊦㊦
 [Biblical Message of October]

㊦㊦㊦ 10月の例会 ㊦㊦㊦
 [October Club Meeting]

だから、種を蒔く人のたとえを聞きなさい。だれでも御国の言葉を聞いて悟らなければ、悪い者が来て、心の中に蒔かれたものを奪い取る。道端に蒔かれたものとは、こういう人である。石だらけの所に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて、すぐ喜んで受け入れるが、自分には根がないので、しばらくは続いても、御言葉のために艱難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまう人である。茨の中に蒔かれたものとは、御言葉を聞くが、世の思い煩いや富の誘惑が御言葉を覆いふさいで、突らない人である。良い土地に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて悟る人であり、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結ぶのである。

(マタイによる福音書 13章18~23節)

○ 10月 第1例会

日時:2003年10月15日(水)18:30~20:30
 場所:東洋ホテル3階

司会 山田 孝彦メン

1. 開会点鐘 谷川 俊一 会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 司会者
4. 聖句朗読 谷川 寛メン
5. 日々の糧・晩餐 一同
6. 02~03年度会計報告 三浦 直之 会計
7. スピーチ「近頃 私が考えていること・・・」
鎌田メン、永島メン、坂本メネット
その他 一同
8. インフォメーション 各担当
9. お誕生日祝い・ニコニコ献金 一同
10. 閉会点鐘 谷川 俊一 会長

㊦㊦㊦ Attention Please ㊦㊦㊦

1. 10月第1例会は、全員が「最近行っていること、思っていること、うれしかったこと、悩んでいることなど」を自由に語る会です。ご用意ください。
2. 土佐堀カーニバル~~~11月3日(月・祝) YMCA 土佐堀館で開催~~~ のバザーのために 献品をお願いします。新品ならなんでもOK(生鮮食料品を除く)
10月第1例会のときか、あるいは直接YMCA9階までご持参ください。

○ 10月 第2例会

日時:2003年10月22日(水)18:30~20:30
 場所:大阪YMCA土佐堀館9階

*10月例会当番

第1班 (山田、鈴木、谷川寛、永島)

*10月お誕生日 Happy Birthday!

谷川ゆき子メネット1日、鎌田メネット22日

【クラブ統計 Statistics】 下欄()は、うちの義会員を表わす

2003年9月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21 (1)名	メ ン	13名	10名	9月:切手 300 gr.	9月: 21,000円
例会出席 15名	メネット	7名	1名	現金 2,000円	
うちメークアップ 2名	ビジター	2名	名	(03年7月~03年9月の)	(03年7月~03年9月の)
	ゲスト	名	名	累計:切手 2,395 gr.	累計: 39,500円
出席率 75.0%	合計	22名	11名	現金 7,000円	(除く、クリスマス献金、オークション、記念献金)

「種を蒔く人」のたとえ話は以前にも取り上げたことがあります。聖句の教えているところは、文字どおり「キリストの教え」を聞いたとき、素直な心で受け入れることの如何に大切であるかということでもあります。

今回の聖句には「聞く」という言葉が何回も出てきますが、「聞く」にちなんで次のことを考えてみました。

わがクラブのCS活動の対象の一つに「関西いのちの電話」を取り上げております。関西いのちの電話は今年で創立30周年を迎えました。いのちの電話活動のポイントは、様々な悩みを訴えてくる人々の声を聴くことです。ただ単に、悩んでいる事柄を正確に受け止めるだけでなく、電話をかけてくる人々の気持ちを汲み取ってあげることが、より一層大切なことです。人々は心理的にパニック状態になっても、その気持ちを理解して貰ったと分かった時に、心が鎮まるものです。いのちの電話では、電話に出るボランティア相談員の訓練を最重要課題としております。

私たちは「いのちの電話」の本質をも理解しながら応援したいと思えます。

(聖句選 コメント: 黒田 聡之)

9月 第1例会

【 Report of the September Club Meeting 】
 (9月23日(火) 11:15~15:00)
 (ホテル・オオサカサンパレス/万博公園/民博)

○ 一気に気温が下がった「秋分の日」、数日前までの暑さがウソのよう。時折薄日がさす絶好のハイク日和。9月はメネット月、例会を一度野外でと、メネットさんが中心になって企画・運営した。

○ ゲストとして 松下広子さん(なかのしま)、坂本哲朗さん(東京目黒)が参加され、総勢22人が11時すぎにホテル・オオサカサンパレス2階に集まった。坂本千春メネットの司会のもとに、松浦和子メネット会長から本日の野外例会の趣旨と日程の紹介があり、福永滋子メネットの聖句朗読のあと、午餐をとりながら例会をもった。

浜野昌保メンから、8月例会での熊本・仙台YMCAへの救済募金、ミャンマーYMCAへの支援(第3面記事参照)について、大阪YMCAとしての報告と謝意が述べられた。

また8月来日されたヒラナカ・ファミリーからクラブへのお土産(マカデミアナッツ)が中村茂高メンから披露された。

○12時すぎから、万博公園に入り散策。「ソラード」に上がって、回廊を渡り、鳥になった気分で大木の上から眺める。さわやかな風が吹き渡って、緑がさわめくさまは 実に爽やかですばらしい。

水鳥の池のそばで、宙中 彬メンの指導でゲームを楽しむ。ハンカチ送り、人間の鎖、みんな童心にかえって必死になるところが面白い。

○続いて、民族学博物館の特別展「西アフリカおはなし村」

On September 23, the club's September meeting was held at the Hotel Osaka Sun Palace with a total of 22 Y's men, Y's menettes, and guests in attendance. With its emphasis on "Y's menettes' activities" this month, Y's menettes presided the meeting as usual.

At the beginning, Mr. MASAYASU HAMANO of the Osaka YMCA made an report on their Myanmar Child Care Projects and we were glad to know that they made an effective use of our contribution of Yen100,000 for the education program of the underprivileged children in Myanmar.

After the lunch at the hotel, we took a walk in the Expo '70 Commemoration Park near the hotel. Walking through the so-called "sky road" was the most exciting moment and we all felt as if we were birds flying over the beautiful woods. Everybody returned to their childhood days when we played such games as "passing handkerchiefs" and "unloosing human chain" under the skillful leadership of Y's men AKIRA HATAKENAKA.

The experiences at the National Folklore Museum in the park was also a lot of fun. An elderly woman and a middle-aged man from Cameroon, Africa told us old tales in their village, which made us aware of the similarity and difference between their culture and ours.

をみる。40年近くカメルーンでフィールドワークを続けてきた江口一久教授の成果が展示されている。ムニおばさんたちから昔はなしを聴く。江口教授が通訳。フルフルデ語だそうだ。ハイエナ君がいつも割を食う話しは愉快だ。アフリカの伝承文芸の一端こぼれて、世界にはいろいろな文化があることを知った。

午後3時、さわやかな空気を十分に味わった野外例会を終えて解散。みなさん「ウソコ」(ごころうさん)、「セイ・イエーソ」(また会いましょう)・・・ (松浦孝次 記)



(ソラードの展望台から眺める景色はすばらしい!)
 みんなで記念撮影)

9月BF ニュース

[Report of the Brotherhood Fund in September]

BF 委員長：栗山 佳三

◇現金提供者：栗山 山田君

◇切手提供者：山田、栗山、隅田君

*今月の殊勲賞 山田君 270gr

9月第1例会のショット



(太陽の塔をバックに)



(芝生上でゲーム—「ハンカチをまわさないで!!」)



(万博公園内を散策、傘を手に先導するは島中メン)

中西部EMCフォーラム

9月6日(土)午後、大阪YMCA土佐堀館で開催、約50名が参加。わがクラブからは栗山(西日本区直前EMC事業主任)、山田(中西部直前EMC事業主査)、藤原、石本、松浦メン5名が出席しました。

岡本就介・西日本区EMC事業主任の事業方針、次いで石崎祥之・立命館大学経営学部助教授から「人が集まるのには理由(わけ)がある」と題しての基調講演を聴き、分団に分かれての討議を行いました。

石崎さんは、どうしたら人が集まるか、時流に見合った戦略を立てて、パッションをもって、気長に(3年辛抱する)、なにか起爆剤となるものを使って、流れを作っていくことと説かれた。

わがクラブにとって、メンバーの勧誘・増強はいま重要な課題で、みんながその意識をもつことが必要。また、新しい人には勿論のことお互いに声をかけあう、欠席者には電話で会話するなどの維持も大切だと痛感しました。

(松浦 記)



(民博の「西アフリカおはなし村」で昔ばなしを語る
カメルーンの人たちと 江口教授)



(西アフリカの話に耳を傾けるわがメンバーと
一般の人たち)

ミャンマーから礼状が届きました！！

YMCA連絡職員 浜野昌保

センテニアルワイズの10周年を記念に開始したYサ事業「ミャンマーチャイルドケア・プログラムへの支援」の2002年度分(10万円)についての報告をいたします。

さる7月に、大阪YMCAから統括本部の末岡祥弘部長がミャンマーを訪れた際に、マンダレーYMCAのMaung Maung Win 総主事、ヤンゴンYMCAのThe Nyan 総主事に、それぞれに支援金をUS\$411ずつ現金にて手渡ししました。

日本からミャンマーへ銀行から送金すると、税金や手数料などで25%もの諸経費がかかるそうで、訪問の際に現金で手渡しができたことは大変有意義なことでした。

日本円は、ミャンマーでは日本の約10倍の価値がある、と聞いていただいてよいです。ですから、それぞれのYMCAに50万円ずつ、合わせて100万円の支援をしたという感じになります。

両YMCAからのお礼状には、センテニアルワイズへの謝辞と支援金の使いみちが記されています。

支援金はノート、筆記具、スクールバッグ、水筒などの物品購入に当てられ、子どもたちのために活用されています。しかし、まだまだ受け入れられる子どもの数が限られていて、本当はすべての子どもたちへのケアを願っているとの苦悩も書かれていました。

また、ヤンゴンには1974年に設立されたワイズメンズクラブ Yangon Y's Men's Club があり、12名のメンバーがいますが、活動は余り活発ではなく、今回の支援金を機にぜひご来訪いただき、交流して欲しいとのことでした。

ちなみに、今年末には大阪YMCAからミャンマーへのボランティア体験ツアーを計画していますので、ワイズメンの方々もぜひ参加していただければと思います。 ♂



Founded in 1894

ရန်ကုန် ကလျာဏ ယုဝ ခရစ်ယာန်အသင်း

အမှတ် ၂၆၃၊ မဟာဝန္တလမ်း။ ရန်ကုန်။

The Yangon Young Men's Christian Association

No. 263, Maha Bandoola Street, Botataung Township.
P.O. 11161 Yangon, Myanmar.



မန္တလေးကလျာဏယုဝခရစ်ယာန်အသင်း

ရုံးချုပ်၊ ၂၆လမ်းနှင့်၇၅လမ်းဒေါင်း၊ မန္တလေးမြို့၊

ရုံးခွဲ၊ ၈၂လမ်းနှင့်၃၇လမ်းဒေါင်း၊ မန္တလေးမြို့၊

THE MANDALAY YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION

HEAD OFFICE, CORNER OF 26TH & 75TH STREET, MANDALAY, MYANMAR

Ph-CDMA-0969-71246

(上：ヤンゴンYMCAから届いた礼状のレターヘッド)

(下：マンダレーYMCAから届いた礼状のレターヘッド)

IBCクラブニュース

IBC・DBC委員長：藤原 正巳

"Alpha from Hawaii"

メー・ヒラナカ、ハワイヌアヌクラブから

9月8日28人の会員、メネット、コメントおよびゲストが参加して、ヒラナカさん宅にて9月例会を開催。

例会では、旅行の際にホテルなどから収集した石鹸や化粧品用品を持ち寄り、全員で福祉施設などへ寄付するためのGift Packageを作成。

ヒラナカ夫妻から、今回の訪日の成果とプラザークラブの活動状況を報告、各会員に国際経験の素晴らしさを強調し、実行に移すようアドバイス。

次いでメーさん手作りの夕食をエンジョイ。ちなみに当日のメニューは下記のとおりです。

- ～ オードブル、グリーンサラダ、マウイ風サーモン、
- スイートコーン、ラサグナバスタ、照り焼きチキン、
- おしんこ、ひじき、おから、佃煮、ごはん、ガーリック
- パン、パンプキン/アップルパイ、西瓜、ソーダ、ジュース、コーヒー、紅茶など～

"Bauhinia News"

香港Bauhiniaクラブ・プリテンから抜粋

ティムシャツイ・クラブ等との3クラブ合同夕食例会が、8月12日にワンチャイのYMCAインターナショナルハウスで開催され、17人の会員とゲストが出席した。席上250香港ドル(約4000円)の献金が集められた。

☆☆☆☆☆☆☆☆

♂ センテニアルワイズの国際貢献に感謝し、これからも引き続きご支援をお願いし、報告といたします。本当にありがとうございました。

お知らせ

1. 第6回中西部会

10月4日(土) 1400~1830 六甲山YMCA
部会行事/散策とランタン作り/キャンプファイヤー

2. 土佐堀YMCAカーニバル

11月3日(祝・月) 大阪YMCA 土佐堀館
献品をお願いします。新品なら何でも(生鮮食品は除く)

3. 大阪YMCA チャリティラン2003

11月9日(日) 浜寺公園 (雨天決行)
3チーム出場します。うち1チームはスポンサー。
2チームはクラブからランナーを出します。
ふるってご参加を・・・

4. 世界祈禱週—大阪・土佐堀YMCA

11月14日(金) 1830~1930 祈禱会
「人間としての癒しを求めて」 土佐堀館10階

5. 恒例「陸奥いのちの電話」バザー

11月1日(土)
メンは果物、メネットは衣類の販売を担当する予定です。

9月 第2例会

【Report of the September Club Meeting】
(9月17日(水) 18:30~20:30 大阪YMCA)

1. 10月第1例会プログラム

近頃行っていること、思っていることなど、近況を全員が語る会とする。とくに永島・鎌田メン、坂本メネット中心に語ってもらおう。

2. 前年度会計報告の審議

三浦会計からの02~03年度の会計報告を審議し、計上のしかたを一部修正のうえ、10月第1例会でクラブ会員の承認を求めることとした。

3. YMCA チャリティランへの参加

クラブとして3チーム参加し、うち2チームはランナーを出し、1チームはスポンサーとなる。また当日の運営は安全、設営の担当(7ワイズクラブ合同で)。三浦メンが運営委員。

4. その他

(1) 土佐堀YMCAカーニバル

当クラブから、石津副会長が実行委員として参画する。

(2) DBC

藤原委員長から、DBCの相手先を模索中との報告があった。DBCとの交流が、当クラブ内の活性化にも資するだろうから。

(3) センテニアルクラブの倉庫以来の物品

山田書記から、自ら保管している物品リストの報告があった。

YMCA ニュース

○ 秋もすっかり深まりましたが、皆さんにとっては「読書の秋」「体育の秋」「食欲の秋」「味覚の秋」はたまた「〇〇の秋!」と、どのようにお過ごしでしょうか。ワイズメンの方々にとっては行事が盛り沢山の「ボランティアの秋」「YMCAの秋」となりますが、よろしくお願ひいたします。

★第126回大阪YMCA 早天祈禱会

日 時: 10月17日(金) 午前7時30分~8時30分
場 所: 大阪YMCA 会館 10階チャペル
証 し: 丸尾欽浩氏
(大阪東YMCA 運営委員/河内ワイズメンズクラブ)

★留学生のためのガレージセール

日 時: 10月18日(土)
場 所: 大阪YMCA 学院上町校
内 容: ガレージセール、交流会、たこ焼き、ちぢみ等の屋台
問合せ: 大阪YMCA 学院上町校 Tel. 06 (6779) 8361

★ボランティア・市民活動フェスティバル in 大阪

日 時: 10月19日(日) 午前10時~午後4時
場 所: 大阪城公園 太陽の広場

連絡職員 浜野 昌保

★六甲マントルピースを囲む会

日 時: 10月24日(金) 午後7時~9時
場 所: 六甲山YMCA 里見ホール
スピーカー: 宮田満雄氏 (賢明女学院院長/元神戸YMCA 理事長)
参加費: 6,000円(1泊2食)
問合せ: 六甲山YMCA Tel. 078 (891) 0050

★大阪YMCA インターナショナルスクール

フード&エンターテイメントフェスティバル
日 時: 10月25日(土) 12時~5時
場 所: 弁天町オーク200 2階広場
内 容: インターナショナルスクールの生徒による音楽演奏、チャリティーバザーなど
問合せ: みなとYMCA Tel. 06 (4395) 1002

★環境セミナー「地球と人間の未来を考える」

日 時: 11月28日(金) 午後7時~8時30分
場 所: 大阪YMCA 土佐堀館5階 参加費は無料
テーマ: 地球温暖化など、地球環境はどうなっていくのか?
講 師: 岩本智之氏(京都大学・大気環境専攻)
申 込: 土佐堀YMCA Tel. 06 (6441) 0895

☺ ニコニコ・メッセージ ☺
【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

- なかなか東京目黒クラブから転籍できません。今月末に姫路クラブ(DBC)と妙高高原にての例会に参加します。目黒クラブで副会長とプリテン担当で頑張っています。(東京目黒クラブ 坂本 哲朗)
- すがすがしい秋を感じる一日、美味しいお食事をいただいて、万博公園へ自然に誘われて空気を吸って歩くのを楽しみます。忙しく過ごしている毎日ですがゆとりの時を与えられ、参加させていただいてよかったです。(なかのしまクラブ 松下 広子)

“ごふさだ”メッセージ

- いろいろと行事が重なりまして申し訳ありません。また次回にはお目にかかりたいと思っています。(鎌田 史朗)
- 最近はやりの生活が出来なくなっており、芝生の上も立ち上がるのが困難ですので、残念ですが例会は欠席します。(黒田 義之)
- 世界YMCA同盟財務委員会がジュネーブでありますので、欠席します。(谷川 寛)
- 欠席が多いので皆様にも申し訳ないのですが、海外出張の予定が入っており、やむなく欠席させていただきます。(永島 寧)

会員からのメッセージ

- いつもと違う形での例会もよいものです。活動を通していろんな人々と交わって楽しく過ごせました。(石津 雅人)
- ステキなところで日ごろ会えないメンバーにもお会いできてうれしいです。(坂本 千春)
- 美味しい弁当を食べて今から万博内を散策し民族博物館に入館の予定です。こんな例会もいいですね。(栗山 佳三)
- 久しぶりに参加できてうれしかったです。9月21日にいよいよ59歳になりました。心して前進していきたいです。(新保 正秋)
- わがセンテニアルは、メネットグループの柱々たるメンバーによって80%は支えられている。メンはもっと比率を上げなくちゃ!!(鈴木 謙介)
- 久しぶりの万博公園、思いっきりきれいな空気を吸い込んで歩きたいと思います。楽しいメネット例会を企画してくださって松浦会長ありがとうございました。(隅田 恵子)
- 万博公園での楽しい会合、ありがとうございました。(田中 積二)
- 台風一過か、まさに秋らしい秋分の日、自然の中でよい空気を味わい良い仲間と交わりを持ちました。(谷川 俊一)
- 箕面の山々を眺めつつの美味しい昼食、なごやかな楽しい会は、雰囲気を変えての例会はとても良かったです。緑の風を楽しみながら、緑のじゅうたんに座っての戸外のゲームは格別の楽しさでした。(谷川 有美子)

- 趣が変わった例会です。こんな楽しみ方もあったのだと感心いたしました。足の靭帯を痛めていましたが、参加できて嬉しい日でした。(中村 幸枝)
- 秋のさわやかな1日を場所を変えた例会、最高でした。一層皆さんと親しくなれた気がします。(中村 茂高)
- すばらしい景色に囲まれた中、とてもおいしい食事をいただきました。今日も楽しい企画に参加させていただき有り難うございました。(中村 珠美)
- 野外での例会もよいものですね。また企画していただけたらと思います。(浜野 昌保)
- 今回のすばらしい企画に拍手!!さすが、やはり自然界での例会は快いものです。(福永 嘉彦・滋子)
- 広々とした万博会場と箕面の山々を眺めながらの例会は、またひと味違った楽しい集いでした。メネットのご企画に感謝申し上げます。わがクラブに今必要なのはこうした楽しい集いだと思います。今後とも皆さんの力を結集し、親睦を通じて楽しいクラブづくりをめざしましょう!(藤原 正巳)
- 緑の中をみんなで歩くのは、とても気持ちのよいものです。ゲームも楽しみにしています。今日は沢山の人の参加があり、とてもうれしいです。(松浦 和子)
- 今日は野外。みなさんの、いつもとは違う表情が見れるのが楽しみです。いつもは忙しくて久しぶりにお顔を見せていただいた人々もあり、感激です。(松浦 孝次)
- いつもと違う趣向の例会で楽しかったです。またやりましょう。(三浦 直之)



(カメルーンの民族衣装を着けて —
みなさんよく似合ってます・・・)

《 編集後記 》

- みんなで「西アフリカ村」を観きました。江口教授によれば、昔話の数は分かっているだけで2,000はあるそうです。すべて口承です。ムニおばさんたちの静かな語り口は印象的でした。ハイエナ、ライオン、ヤギなどの動物たちが登場し、動物みずから語り、せめぎあいをする想像力豊かな世界に触れました。地球上にあるひとつの文化だと感じました。(松浦 孝次)